

2024年1月16日

株式会社大分銀行
株式会社沖縄銀行
株式会社鹿児島銀行
株式会社佐賀銀行
株式会社十八親和銀行
株式会社筑邦銀行
株式会社西日本シティ銀行
株式会社肥後銀行
株式会社福岡銀行
株式会社宮崎銀行
株式会社琉球銀行

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた 九州・沖縄地銀連携協定について

株式会社大分銀行（頭取 後藤 富一郎）、株式会社沖縄銀行（頭取 山城 正保）、株式会社鹿児島銀行（頭取 松山 澄寛）、株式会社佐賀銀行（頭取 坂井 秀明）、株式会社十八親和銀行（頭取 山川 信彦）、株式会社筑邦銀行（頭取 佐藤 清一郎）、株式会社西日本シティ銀行（頭取 村上 英之）、株式会社肥後銀行（頭取 笠原 慶久）、株式会社福岡銀行（頭取 五島 久）、株式会社宮崎銀行（頭取 杉田 浩二）、株式会社琉球銀行（頭取 川上 康）の九州・沖縄地銀頭取会の11行は、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向け、半導体関連産業集積の促進や半導体を起点とする他産業および社会インフラの強化を図り、九州・沖縄経済の更なる成長を目指すため、“「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた連携協定書”を締結し、相互に連携および協力することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします（銀行名は五十音順）。

記

○ 「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けた連携協定の概要

1. 目的

経済産業省が策定した「半導体・デジタル産業戦略」において、九州は“産業用先端半導体の世界的な生産拠点”として位置付けられています。また、2023年10月に開催された“九州地域戦略会

議（※）”では、半導体関連産業の更なる集積、雇用創出、交流人口拡大などがもたらす経済成長を最大化するために、「産・官・学・金」が一体となって取り組んでいく必要性の提言がなされ、金融機関に対する期待が高まっています。

今回の連携は上記の状況を踏まえ、九州・沖縄での半導体関連産業を起点とする経済成長に、より具体的かつ能動的に貢献するため、九州・沖縄地銀が共同で諸課題に対して取り組むことを目的とするものです。

（※）「九州はひとつ」の理念のもと、官民一体となって九州独自の発展戦略の研究や具体的施策の推進に取り組んでいくため、「九州地方知事会と九州・山口経済連合会との意見交換会」を発展する形で 2003 年に設立

2. 連携・協力の内容

「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、次に掲げる事項について連携・協力していきます。

- (1) サプライチェーン強靱化に向けた取り組みに関すること
- (2) サステナビリティ推進に関すること
- (3) 九州・沖縄の活性化に関すること
- (4) 九州・沖縄での業界調査および分析に関すること

3. 協定書締結日

2024 年 1 月 16 日（火）



以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 十八親和銀行 営業推進部
TEL 095-827-8026

連携および協力の内容

■ 「新生シリコンアイランド九州」の実現に向けて、次に掲げる事項について連携・協力する

① サプライチェーン強靱化に向けた取り組みに関すること

- ・ 広範な金融サービス提供に向けた“共同ファイナンス”や“ファンド”の組成
- ・ 地場半導体関連企業のサプライチェーン参入支援（合同商談会の開催など）
- ・ 半導体関連企業の誘致
- ・ 生産性および持続可能性向上に資するDX支援、M&A支援

② サステナビリティ推進に関すること

- ・ SDGsの普及啓発（各種セミナーの共同開催など）
- ・ カーボンニュートラルの推進
- ・ 各行が所有するサステナビリティに関する商品・サービスの相互利用

③ 九州・沖縄の活性化に関すること

- ・ 半導体を軸とするユーザー産業創出支援
- ・ 持続可能な街づくりと地域産業活性化についての協業
- ・ 海外とのネットワークを活用した事業展開支援に関する連携

④ 九州・沖縄での業界調査および分析に関すること

- ・ マーケット調査（半導体業界動向や技術トレンド等）及び九州・沖縄への影響調査・分析など